

第 35 回一志会例会 レポート 平成 28 年 8 月 30 日



ゲスト 伊藤 尚子 氏

一志会は、「公の精神」のもとに積極的に社会的責任を果たそうとの想いを共有する大企業経営幹部の「コミュニティー」ですが、8月30日に第35回例会を開催しました。

今回は、一般社団法人日本躰の会 会長の伊藤尚子氏をゲストにお迎えし、「日本人の心―躰を通じて―」と題した卓話を頂きました。伊藤氏は、1981年から実践団体「日本の躰を考える会」を発足させて活動を開始し、1995年には各界要人の賛同を得て、「社団法人日本躰の会」を設立されました。

現代社会に対応した躰(モラル・マナー・秩序・倫理)、EQ(心の知能指数)を積極的に提言し実践しておられるだけでなく、“リーダーたる者、野性味を持って”、と男の遊びにも理解を示される度量の広さのある人、いわば現代の“女傑”です。一柳が注目する女性リーダーの一人です。

伊藤氏は、冒頭において、躰に関わることとなったきっかけをお話されました。1981年に【躰を世界語にする】という内容を日経新聞に寄稿され、その記事が日本に限らず世界各国から大きな反響となり、躰の啓蒙に勤しまれるようになりました。伊藤氏は、「親の躰が先で、親は子供について責任を持つ必要がある。」と出席者に檄を飛ばされ、家庭内でも【ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)】はとても重要で、これにより家庭内の会話も弾み、躰が身に着くと強調されました。

次に伊藤氏が長年に渡り海外をつなぐ活動についてお話しされました。ダライ・ラマ氏からの依頼によるモンゴルでの病院建設、キューバのカストロ元議長の訪日の舞台裏等、多岐にわたるエピソードを語られました。

最後に「躰はマナーやエチケットのような軽いものではなく、心に愛情がないといけません。日本をもう一度見直して素晴らしい日本を望もう。」と締め括られました。

卓話の後に伊藤氏が会長を務められている「日本躰の会」における様々な国との交流活動を綴ったDVDを投影し、伊藤氏の活動の幅の広さと深さが紹介されました。そこで国内外の要人との関係が映されると、このような関係を構築できたのは、出会いをととても大切にし、出会いの後は長い付き合いを続けたからだ、と、伊藤氏の人付き合いへの想いを語られました。

卓話では、躰への思いがとてもこもった重みある語りと日本と諸外国との関係への想いに皆引き込まれていきました。参加された会員は、「躰の重要さに身が引き締まった」「グローバル化と叫ばれているが、真のグローバルに何が必要か理解できた。」等の意見が聞かれました。



伊藤氏 卓話風景



アサヒグループ HD 高橋氏 事業紹介

続いて、会員の事業紹介コーナーで、アサヒグループホールディングス株式会社の高橋常務取締役兼常務執行役員から、「アサヒグループの中長期戦略について」と題し、ビール業界の現況と今後の戦略についてご説明いただくとともに、期待の新品 3 種類をご提供頂きました。

その後の会員の交流時間帯では、今回初参加となる、飯沼・エイピーピー・ジャパン 社長代行、下村・東日本旅客鉄道 総務部担当部長から自己紹介を頂きました。

続いて、OB 会員である、赤石・東日本環境アクセス 代表取締役社長、降矢・ミヤコ化学 専務取締役、椎名・KPMG コンサルティング 代表取締役副社長よりご挨拶を頂きました。

そして、会員からの近況報告として、杉山・資生堂 執行役員、丸山・ベネッセインフォシエル 代表取締役社長、若林・阪急電鉄 専務取締役、藤井・トヨタフリートリース 代表取締役社長、古川・TMAC 代表取締役社長、井戸・パナソニック 役員 東京オリンピック・パラリンピック推進本部長より、それぞれホットな報告をいただきました。

その後も、ゲストの伊藤氏を囲んでの交流が続き、大変にぎやかな雰囲気となりました。



APPJ
飯沼氏



JR 東日本
下村氏



東日本環境アクセス
赤石氏



ミヤコ化学
降矢氏



KPMG コンサルティング
椎名氏



資生堂
杉山氏



ベネッセインフォシエル
丸山氏



阪急電鉄
若林氏



トヨタフリートリース
藤井氏



TMAC
古川氏



パナソニック
井戸氏